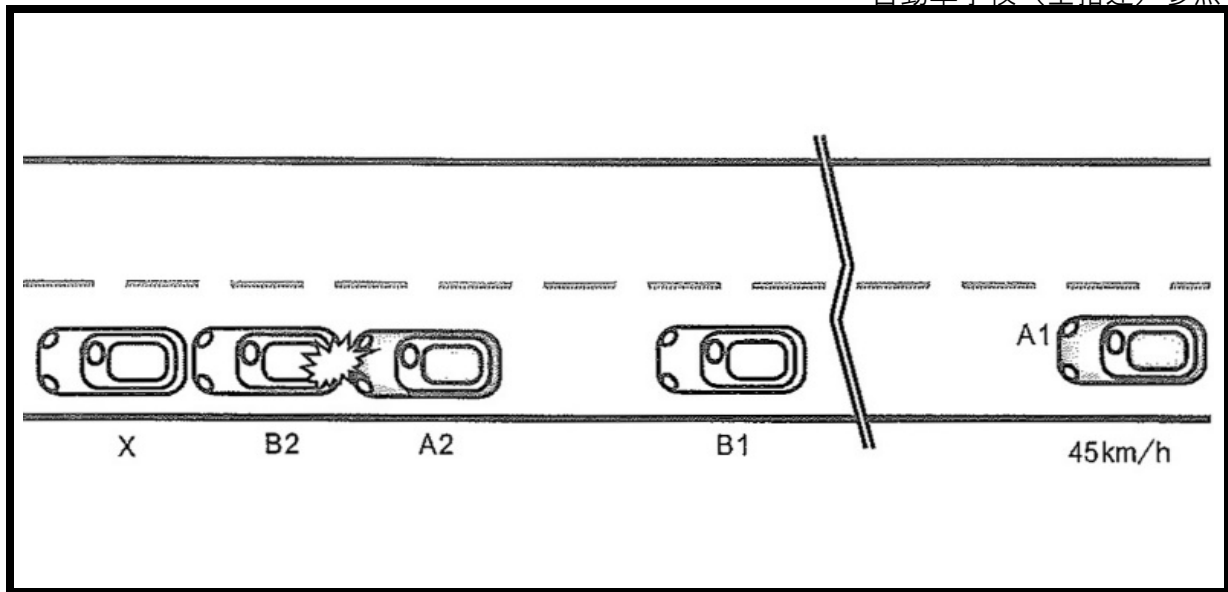


■事故の概況

自動車学校（全指連）参照



事故類型：追突

発生日時：2月 午後1時頃 晴れ

当事者A：普通乗用車 30歳代 男性

当事者B：普通乗用車 20歳代 女性

■ 事故の概要

Aは、毎日通る道路を、時速約45kmで走行中、遠くに先行車のB車を発見しました。十分に距離があるという安心感から、普段から気になっている沿道左側の飲食店の様子を見ました。視線を前方に戻すと、遠くを走行しているはずのB車が渋滞のため停止しているのに気がつき、慌てて急ブレーキをかけましたが間に合わず追突してしまいました。普段から渋滞する道であることは認識していましたが、この時は忘れていました。

Bは、追突されて前に押し出され、前車X車に玉突き衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

前方が非常に開けていることがかえって油断を抱かせてしまう事例です。十分すぎる車間距離を保っていることで油断して追突した例もあります。今現在、前に車が居なくても沿道の出口から車両が合流してこないとも限りません。いかに安全に思えても、予断をもった脇見はどんな場合でも危険であるといえます。